

- 震災後7年以上が経過し、被災者の方々が抱える課題が個別化・複雑化する中、関係府省庁等における取組を総動員して、被災者の方々が安定した生活に円滑に移行していただけるよう、お一人お一人の生活再建を支援する。
- そのため、福島県や被災自治体等とも連携して、①連携促進等による見守り体制の強化を進めるとともに、②「住まい」「就労」「健康的な暮らし」といった個別の課題を抱える被災者の方々に向けた施策の更なる活用促進や改善を行う。

## 主な課題

## 対応の方向性【関係府省庁】

## &lt;見守り体制（関係機関の連携等）&gt;

- |                                    |   |   |
|------------------------------------|---|---|
| ①個人情報取扱いが不明確なことにより避難先・避難元間で連携が進まない | → | ①個人情報の取扱い・共有ルールの明確化を検討【事務局等】            |
| ②避難先における今後とも継続的な行政サービスの提供          | → | ②今後とも継続的な行政サービス提供のための関連制度の運用・周知徹底【事務局等】 |
| ③県外避難者等の見守りが困難                     | → | ③県外を含む各種支援機関による見守り強化を検討【事務局等】           |
| ④複雑化する課題に対するコーディネート機能が弱い           | → | ④複雑化する課題への対応サポートの強化を検討【事務局等】            |

## &lt;住まい&gt;

- |                          |   |   |
|--------------------------|---|---|
| ①仮設住宅供与期間や家賃支援の先行きが不透明   | → | ①福島県と連携して安定した住まいの確保に向けた各種支援の見通しについて検討を進める【事務局等】 |
| ②住宅確保が難しい方へきめ細やかな対応が必要   | → | ②福島県等と連携して住宅確保が難しい方へのきめ細やかな対応を検討【事務局等】          |
| ③賃貸住宅に関する情報を得づらい         | → | ③・④住居に関する情報提供・サポート体制の活用促進を検討【事務局・国交省等】          |
| ④住宅に関する施策や賠償が複雑で分かりづらい   | → |   |
| ⑤公営住宅等の入居についてきめ細やかな対応が必要 | → | ⑤公営住宅等への受入れ促進を検討【事務局・国交省等】                      |

## &lt;就労等&gt;

- |  |   |  |
|--|---|--|
| ①長期離職により就職が難しくなっている被災者に対してきめ細やかな対応が必要  | → | ①被災者の各種見守り・相談支援と各種就労支援との連携強化を検討【事務局・厚労省等】                    |
| ②帰還先で就労の場を見つけるのが難しい等、求人と求職にミスマッチが起きている | → | ①・②事業再開・営農再開への継続支援、再開に至らない事業者への就労・生きがいづくりを含む生活再建支援【経産省・農水省等】 |
| ③生活資金のやりくりの問題を抱える被災者が存在                | → | ②帰還先等における求人企業と被災求職者のマッチング等を推進【経産省・厚労省等】                      |
|  | → | ③生活資金のやりくりへのアドバイス体制の検討【事務局等】                                 |

## &lt;健康的な暮らし&gt;

- |                           |   |   |
|---------------------------|---|---|
| ①住民の健康づくりや生きがいに繋がる取組を進めたい | → | ①健康づくりや生きがいづくりに資する地元の取組への後押しを検討【事務局・厚労省等】     |
| ②複雑な心のケア等は市町村では対応が難しい場合あり | → | ②市町村等と心のケアセンターや放射線相談体制との連携強化を検討【事務局・厚労省・環境省等】 |
| ③帰還先での医療・介護環境の整備や人材確保難    | → | ③医療・介護環境整備と人材確保への引き続きの支援【厚労省・経産省等】            |